

## 【別紙1】 古典楽劇の作品例リスト

作品名	ゆかりの地			作品になっている古典楽劇の種類				内容
	都道府県	市町村	ゆかりの地	能楽	人形浄瑠璃 文楽	歌舞伎	日本舞踊	
『恋女房染分手綱』	滋賀県	甲賀市	水口		○	○		幼い姫が丹波から東国へ向かう道中、東海道・水口の宿で起こる、乳母とその実子との再会と別れ。
『近江源氏先陣館』	滋賀県	大津市	比良		○	○		大坂落城を鎌倉時代に置きかえ、兄弟が敵味方に分れて戦う悲劇。琵琶湖畔が舞台。
『鎌倉三代記』	滋賀県	大津市	比良		○	○		大坂落城を鎌倉時代に置きかえ、千姫がモデルである、時姫の情熱の恋を描く。琵琶湖畔が舞台。
『大原御幸（小原御幸）』	京都府	京都市	大原	○				平家一門が滅びた後、出家して大原の寂光院に住む、建礼門院を後白河法皇が訪れる。
『双蝶々曲輪日記』	京都府	八幡市	八幡		○	○		新町の廓と堀江の相撲場を背景に、二組の男女と力士が織りなす、義理と人情の相剋。八幡の里が最後に登場。
『大江山酒呑童子』	京都府	福知山市・宮津市・与謝野町	大江山			○	○	山城と丹波の国境に棲むという、鬼の酒呑童子の伝説が基になっている。
『天下茶屋敵討』	大阪府	大阪市	天下茶屋			○		江戸時代の初め、大坂・天下茶屋で実際にあった、有名な敵討事件を劇化。
『艶容女舞衣』	大阪府	大阪市	生玉寺町(上塩町)		○	○		上塩町の酒屋の息子、茜屋半七と芸人美濃屋三勝の心中と、半七の女房お園の貞節を描く。
『江口』	大阪府	大阪市	江口	○				江口の里で一夜の宿を求めた西行に、遊女が仏の道を説き示す。
『時雨西行』	大阪府	大阪市	江口				○	江口の里で一夜の宿を求めた西行に、遊女が仏の道を説き示す。
『仮名手本忠臣蔵』	大阪府	堺市	堺		○	○		赤穂浪士に武器を調達した、堺の商人の苦衷を描く。
『船弁慶』	兵庫県	尼崎市	大物	○				静御前と別れて西国へ落ちようとする義経主従を、滅びたはずの平知盛の亡霊が襲う。
『求塚』	兵庫県	神戸市	灘（もしくは生田川）	○				2人の男に求愛されて苦しみ、自ら命を絶った、乙女の霊を旅の僧が弔う。
『大経師昔暦』	兵庫県	丹波市	柏原		○	○		大経師の妻と手代が、運命のいたずらから不義に陥り、京から丹波へ逃げていく。
『良弁杉由来』	奈良県	奈良市	東大寺・二月堂		○	○		幼いとき鷲にさらわれ、成長して東大寺の僧正となった良弁が、30年後に老母と巡り合う。
『玉鬘』	奈良県	桜井市	長谷寺	○				旅の僧が長谷寺で、仏にすぎる心と恋の妄執との間で揺れ動く、玉鬘に出会う。源氏物語が原典。
『小栗判官車街道』	和歌山県	田辺市	熊野		○	○		照手姫の一門に殺された小栗が、姫と再会し、一門に復讐する。小栗の通った熊野街道は小栗街道とも呼ばれる。
『卅三間堂棟由来』	和歌山県	新宮市	新宮		○	○		紀国を舞台に、女性の姿を借りて現れた柳の精と、家族との悲しい別れ。
『因幡の白兔』	鳥取県	鳥取市	白兔神社				○	日本神話（古事記）に出てくる、日本人に親しまれた、兔の物語。
『モラエス恋遍路』	徳島県	徳島市	伊賀町		○			徳島で孤高のうちに生涯を終えた、ポルトガル人文豪・モラエスの物語。瀬戸内寂聴氏作。